

前橋市議会議員

絆

主役は市民!

# 細野勝昭 活動報告



2018年(平成30年)春号/発行:ほその会 前橋市文京町1-45-3

<第7次総合計画 基本構想の全体イメージ図>

計画期間:2018~2027年度の10年間

## 政策方針



10年後の人口目標(2027年度)318,000人

## ビジョン

めぶく。

~良いものが育つまち (where good things grow.) ~

# 平成30年度 予算決まる

## 一般会計予算 1434億3181万円

(前年度比 マイナス24億6056万円 △1.7%減)

平成30年度予算執行にあたっては、初年度となる第7次前橋市総合計画及び前橋版総合戦略の着実な推進、未来に向けた子育てや教育環境の整備、社会保障の充実、雇用の創出、まちづくり等「6つのまちづくりの柱」の重点施策の着実な推進が求められます。

本市の財政状況は、健全化という視点からプライマリーバランスが2年連続マイナスとなる見込みの中で、市民サービス低下を招かぬよう留意するとともに、かつ、限られた財源の事業執行にあたっては、徹底した行政改革の推進と確実な成果を生むべく、施策に係る「費用対効果の検証」が行政運営の重要なポイントになります。

沢山の政策課題を抱えておりますが、行政と議会が有機的な連携を

- ①教育・人づくり
  - ・イングリッシュサポーターによる小学校3、4年生の英語教育の充実
  - ・中学校部活動指導員を配置
  - ・小学校の指導講師や中学校の校務補助員の増加による学習指導の充実と子供と向き合う時間の確保、地域寺子屋事業の実施地区の拡充
- ②結婚・出産・子育て
  - ・子育て支援の推進、子育てと仕事の両立支援、予防接種費用の支援
  - ・放課後児童クラブ増設による子供が安心して過ごせる環境整備
  - ・保育環境の整備、東保育所で3歳未満児の受け入れに伴う施設改修
  - ・児童養護施設等の退所者の自立支援(住居契約費、免許取得費の助成)

6つのまちづくりの柱  
(主なもの)



携を図り、さらに市民力・地域力の向上を図られるような施策展開により活力ある県都前橋の実現は可能であると確信しております。

「主役は市民でなければならぬ」との信念のもと「是々非々」で臨みます。

- ③健康・福祉
  - ・生活困窮者の自立支援では、フードバンク事業や、生活保護世帯・生活困窮世帯の中学生を対象とした学習支援、社会福祉施設等の整備
  - ・日赤跡地生涯活躍のまち(CCRC)事業で解体(国の制度を活用)支援
  - ・「健康づくりと予防介護の推進」では健康診査及び、がん検診の受診率向上
  - ・地域包括支援センターの体制強化や介護予防の推進、地域密着型サービス施設整備支援、「地域包括ケア」の地域支援コーディネート者の配置
- ④産業振興
  - ・「地域産業の活性化」市内高校生を対象とした企業説明会を実施
  - ・企業誘致の推進
  - ・「働く意欲と機会の創出」はジョブセンター前橋を拠点に就職・定着支援
  - ・県との連携による雇用促進
  - ・「魅力ある農林業への転換」では6次産業活性化・直売所の施設改修支援
- ⑤シティプロモーション
  - ・平成32年度「道の駅」オープンに向けた取り組み
  - ・「市民主体の魅力づくりの推進」では官民連携による若者の就学・就職・定住対策や産業振興を行える体制の構築
  - ・民主導の活気あるまちづくりの推進
- ⑥都市基盤
  - ・「都市機能の集約と拠点性の向上」では立地適正化計画に係る居住誘導地区への指定
  - ・交通ネットワークの充実では公共交通網の再編に向けた取り組みと移動困難者対策としてのマイタクの継続
  - ・歩行者や自転車利用者の安全のための施設整備

第1回(3月)定例会  
総括質問(抜粋)

\*CCRC事業について

・日赤跡地生涯活躍のまち(CCRC)事業に係る優先交渉権者である代表事業者は、大和ハウス工業(株)群馬支社と構成事業者である(株)エムダブルエス日高・社会福祉法人恵風会・(株)ヤマニ工業・医療法人富士たちばなクリニック・社会福祉法人あおい会であり、具体的な「提案内容」として事業コンセプト、事業概要が示されているが、業者間で具体的な協議はなされているのか、また協議の内容等について開示はできないのか見解を伺います。

・本市負担で夜間救急診療所について市有施設として整備することであるが具体的な検討はなされているのか、また、実現の可能性について、さらに、前橋市第一福祉作業所はどのような扱いになるのか、一時的に使用できない時期もありうるのか見解を伺います。

\*中心商店街の活性化策について

・中心商店街の「街の姿」は営業店舗も少なく、イベント時を除けば閑散としていて「県都の顔」としての面影は感じられない。行政として活性化策として市民の貴重な税金や市の職員を投入し、様々な支援をしてきたが一向に改善される兆しは見られない。市長は就任されて6年が経過いたしますが、就任時に比べ

率直に現在の「街の姿」をどのように感じておられるのか、また、今日の状況を生み出している原因は何だと思われるか伺います。



総括質問する細野議員

\*産業政策について

・市内には多くの高校、専門学校、大学、短大を含めると進学、就職を希望される方はかなりの数に上ると思われますが、行政として学校ごとの就職希望者の把握はされているのか、さらに就職希望者に対して市内企業とのマッチングなど具体的な手法はどのようなものか見解を伺います。

\*教育に関する質問

・中学校教員の長時間労働の要因として、部活動について県の勤務実態調査で7割以上が部活動に多忙感を持っているということに対し、県教委は教育の更なる充実を図るため、学校における部活動の指針となる運動部活動資料の改定を行うとのことであるが、部活動に対する現状の問題点と対策について、さらに部活に対する保護者の意見聴取などの必要性について市教委の見解を伺います。

第1回(3月)定例会  
建設水道常任委員会 質問  
(抜粋)

\*土地区画整理事業について

・現在12地区において事業が進められているが事業費については、昨年に比べ、2億6千万円の減額となっている。内容的には移転費の減額が事業進捗に大きく影響しているか伺います。

\*道路管理について

・道路パトロール活動は危険個所の早期発見による事故の未然防止など、その活動エリアは市内全域に亘ると思われるが、情報はどのように入手されているのか伺います。

\*水道事業会計について

・本市の水道事業は昭和4年から給水を開始、89年にわたって、おいしい水を市民に届けてきた。そして驚くことに平成11年から今日までの19年間水道料金を値上げせずに今日に至っている。その過程には、経営努力として料金収納・給水場の運転監視業は民間委託による定数の縮減など少数精鋭による公営企業としての使命を果たされていることに敬意を表します。そこで事業は施設整備や災害対策など建設費や維持管理費に多額の費用が掛かる中で「やりくり」で配慮された点について伺います。

地域の諸課題について

通学路・生活道路の安全確保

天小・五中地区の通学路は通学時間帯と通勤時間帯が重なることと、渋滞緩和の迂回路として利用される人も多いことから、児童生徒の安全確保策として一部地域は「ゾーン30」として区域指定がなされた。一方、横断歩道表示・停止線などの不明個所も多く、生活道路という視点から早急な対応が必要である。すでに事故多発地域や交差点個所については改善されており、路面表示以外でも道路標識などの不備については、自治会長さんに連絡していただければ道路管理課や交通政策課と連携をはかり安全確保に対応していきます。



交差点内の停止線の改善



事故多発個所の改善

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください



自宅事務所  
〒371-0801  
前橋市文京町1-45-3  
TEL: 027-221-2208  
FAX: 027-221-2279  
携帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026  
前橋市大手町2-12-1  
TEL: 027-224-1111  
所属 会派: 市民フォーラム  
所属委員会: 建設水道常任委員会・委員  
都市計画審議会・委員